

前記の如く、内務省側と設立者達との數次に互る協議の結果、民主主義の原則に則つた「勞務者の人格の尊重」と「地位の向上」と内容とする、協調會設立趣意書及び綱領の發表を見たのであるが、これと前後して有力なる貴衆兩院議員、朝野の有識者等に對する同會設立に關する相談のため、招待會が政府當局によつて屢々開催され、其の發起人は首相原敬、官相波多野敬直及び若者大臣と初め、廣く朝野の間に求められ、全國の有力者四百餘名の賛同を得た上で、諸般の準備の完了を俟つて八月十六日帝國ホテルに於て發起人會が開催された。而して當日の參集者は内閣諸大臣を始め官吏、實業家、政治家、學者及び宗教家等凡ゆる方面に亘つて百八十五名の

多きに達した。發起人會は徳川家達公から「この度我々が社會の趨勢に鑑みまして協調會なるもの設立致したいと存じます。本日發起人會を開きますに際しまして、御多忙の際にも拘らず、諸君の御來會を相願まゝと多數の諸君の御光來を辱ふ致しまして誠に感謝の至りに堪へません。本會設立の趣意は澁澤男爵より御申述へに相成りましたに願つて置きましたから、同男爵から詳しく御話があるだらうと存じます。御清聴を願ひたい御座います。……」と挨拶したのち、澁澤榮一男から大要次の如き同會設立の趣旨が説明された。

「……吾々共茲に協調會を發起しました趣旨は、果して十分なる成算を以て斯くすれば屹度この社會政策は完備が出来、資本主勞働者の協調も期し得られると